

日本栄養・食糧学会中部支部

平成21年度総会 次第

日 時 平成21年11月14日(土曜日) 12:50から13:20まで
場 所 名古屋大学大学院生命農学研究科 第3講義室

議 題

I 審議事項	ページ
1. 平成20年度 事業報告(庶務代理 早瀬 支部長)	2
2. 平成20年度 会計報告(会計代理 早瀬 支部長)	3
3. 平成20年度 会計監査報告(監事代理 早瀬 支部長)	4
4. 中部支部細則の一部改正(早瀬 支部長)	5
5. 平成21年度 副支部長の選出(早瀬 支部長)	
6. 平成22・23年度 支部役員の選出(早瀬 支部長)	6
7. 平成22年度 事業計画(庶務代理 早瀬 支部長)	7
8. 平成22年度 予算(会計代理 早瀬 支部長)	7
9. その他	
II 報告事項	
1. 平成21年度 事業計画(庶務代理 早瀬 支部長)	8
2. 平成21年度 予算(会計代理 早瀬 支部長)	9
3. 平成22・23年度 支部選出理事候補者の選出(岸 選挙管理委員長) ..	10
4. 平成22・23年度 本部評議員・参与候補者の選出(早瀬 支部長)	10
5. 理事会報告(杉山 理事)	11
6. その他	

平成 20 年度 事業報告(案)

1. 支部大会

(1) 第 55 回支部大会

日 時 平成 20 年 7 月 5 日(土) 13:00~16:30

会 場 愛知教育大学 第 1 共通棟 201 教室 (愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1)

日本栄養・食糧学会 受賞講演会 講演会とシンポジウムの参加者 62 名

1. 食品成分相互作用による生体内抗酸化機能の増強効果

平成 20 年度学会賞受賞 元 椋山女学園大学 山下かなへ

2. 持久運動能力の測定装置開発とその食品栄養学的制御

平成 20 年度奨励賞受賞 椋山女学園大学生活科学部 石原 健吾

シンポジウム「脳機能と栄養 —最近の研究から—」

1. ビタミン A 情報伝達経路による学習・記憶能力制御

東京農業大学応用生物科学部 喜田 聡

2. 運動時エネルギー代謝の中樞性調節

京都大学大学院農学研究科 井上 和生

懇親会 (第 2 福利施設 UP) 参加者 38 名

(2) 第 56 回支部大会

日 時 平成 20 年 11 月 15 日(土) 13:00~17:00

会 場 名古屋大学 シンポジオン会議室 (愛知県名古屋市千種区不老町)

平成 20 年度支部総会

中部支部設立 40 周年記念講演会

「タンパク質・アミノ酸栄養学の過去・現在・未来」 参加者 70 名

1. アミノ酸栄養研究の源流

名古屋大学名誉教授 吉田 昭

2. タンパク質栄養の研究 —40 年の回顧と展望—

中部大学中部高等学術研究所 野口 忠

3. タンパク質・アミノ酸必要量の過去、現在、未来

名古屋学芸大学管理栄養学部 岸 恭一

4. 生理機能物質としてのアミノ酸の重要性

静岡県立大学食品栄養科学部 横越 英彦

懇親会 (ユニバーサルクラブ) 参加者 38 名

2. 評議員会

(1) 平成 20 年度第 1 回評議員会 出席者 26 名

日 時 平成 20 年 7 月 5 日(土) 12:00~12:45

会 場 愛知教育大学 第 1 共通棟 203 教室

(2) 平成 20 年度第 2 回評議員会 出席者 23 名

日 時 平成 20 年 11 月 15 日(土) 12:00~12:40

会 場 名古屋大学 豊田講堂第 1 会議室

3. 40 周年記念事業

第 56 回支部大会において、中部支部設立 40 周年記念講演会を行った。また、中部支部設立から現在までの歴代役員や支部大会の記録等を、第 56 回支部大会講演要旨集と、支部ホームページ (<http://www012.upp.so-net.ne.jp/eishoku-chubu/>) にまとめた。

平成20年度 会計報告(案)

平成20年度日本栄養・食糧学会中部支部収支決算報告書 (単位: 円)

平成20年4月1日より平成21年3月31日まで

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
会費収入				
特別会員会費	150,000	150,000	0	
事業収入				
大会関係費				
懇親会負担金	50,000	115,000	-65,000	
補助金収入				
学会本部補助金	498,500	498,500	0	
学会活動強化費	150,000	250,000	-100,000	
学会開催助成金	0	80,000	-80,000	大幸財団
雑収入				
受取利息	1,000	1,124	-124	
当期収入合計 (A)	849,500	1,094,624	-245,124	
前期繰越収支差額	689,199	689,199	0	
収入合計 (B)	1,538,699	1,783,823	-245,124	
支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費				
支部大会開催費				
会場費	30,000	114,950	-84,950	
人件費	50,000	52,000	-2,000	
会議費	100,000	108,168	-8,168	
旅費・交通費	100,000	62,140	37,860	
印刷費	150,000	135,450	14,550	
懇親会費	200,000	231,072	-31,072	
通信費	30,000	11,310	18,690	
諸謝金	300,000	266,664	33,336	
雑費	10,000	1,135	8,865	
管理費				
会議費	0	0	0	
旅費・交通費	0	0	0	
通信費	20,000	1,730	18,270	
消耗品	50,000	7,452	42,548	
諸謝金	0	0	0	
雑費	10,000	1,575	8,425	
本部会計繰出金	0	0	0	
当期支出合計 (C)	1,050,000	993,646	56,354	
当期収支差額 (A)-(C)	-200,500	100,978	-301,478	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	488,699	790,177	-301,478	

平成20年度日本栄養・食糧学会中部支部財産目録
(平成21年3月31日現在)

(単位 円)


科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	0	
普通預金		
三菱東京UFJ銀行知立支店	790,177	
現金預金合計	790,177	
未収金	0	
流動資産合計		790,177
2. 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		790,177
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払消費税等 確定消費税	0	
流動負債合計		0
負債合計		0
正味財産合計		790,177

平成 20 年度監査報告

平成 21 年 4 月 9 日

社団法人 日本栄養・食糧学会 中部支部
支部長 早瀬 和利 殿

社団法人 日本栄養・食糧学会 中部支部
監 事

小田 裕 昭 

平成 20 年度収支決算報告書および財産目録について、関係書類とともにその内容を監査した結果、正当であることを認めます。

日本栄養・食糧学会中部支部細則(案)

1. この支部は日本栄養・食糧学会中部支部（愛知、岐阜、三重、静岡、長野、福井、石川、富山）と称する。
 2. この支部は日本栄養・食糧学会の活動に協力するとともに中部地方における栄養知識の普及向上をはかることを目的とする。
 3. この支部の会員を正会員および特別会員とする。正会員は中部地方に在住する日本栄養・食糧学会会員とする。特別会員は支部の趣旨に賛成し、支部の発展に寄与せんとする団体または個人とする。
 4. この支部は第2条の目的を達成するためにつぎの事業を行う。
 - 1) 研究発表会
 - 2) 講演会
 - 3) その他、この支部の目的達成に必要な事業
 5. この支部につぎの役員をおく。
 - 1) 支部長 1名
 - 2) 副支部長 1名(追加)
 - 3) 支部評議員 若干名
 - 4) 監事 若干名
 - 5) 幹事 若干名
 6. 支部長および副支部長(追加)は支部役員会にて選出し、支部総会の承認を経て決定する。支部長は本支部を代表し会務を処理する。
 7. 支部評議員および監事は支部役員会の議を経、支部総会の承認を得て支部長が支部会員中よりこれを委嘱する。中部地方に在住する日本栄養・食糧学会評議員および参与（本部評議員）は支部評議員を兼ねるものとする。
 8. 支部監事は支部の会計を監査する。
 9. 支部幹事は支部役員会の議を経て支部長が委嘱し、支部長の行う会務を補佐する。
 10. 支部役員会は上記役員をもって構成する。本会は支部長が招集して適宜開催し、支部運営に関する重要事項を議する。
 - ~~11. 支部役員会は本部評議員中より本学会理事若干名を推薦する。(削除)~~
 12. 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
 13. 支部長主催のもと年1回支部総会を開き、重要事項を議決する。ただし、必要のある場合には臨時に総会を開くことができる。
 14. この支部の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終わる。
- 付 則
1. この支部の事務局は、支部長の所属する機関に置くものとする。
 2. 特別会員の会費は年間1万円以上とする。
 3. 日本栄養・食糧学会中部支部会則（昭和43年4月1日制定）は廃止する。
 4. 平成7年5月18日施行、平成21年11月14日改正(変更)

平成22・23年度 支部役員(案)

平成21年11月14日

(敬称略)

支 部 長	早川 享志 (岐阜大学応用生物科学部)
副支部長	堀尾 文彦 (名古屋大学大学院生命農学研究科)
監 事	青木 直人 (三重大学生物資源学部)
庶務幹事	長岡 利 (岐阜大学応用生物科学部)
会計幹事	後藤 剛 (岐阜大学応用生物科学部)

評 議 員 67名 下線は新任

青木 直人 (三重大学)	青山 頼孝 (名古屋文理大学)	<u>阿部 稚里 (三重短期大学)</u>
池田 彩子 (名古屋学芸大学)	石原 健吾 (椋山女学園大学)	<u>和泉 秀彦 (名古屋学芸大学)</u>
糸川 嘉則 (仁愛大学)	上野 良光	内田 浩二 (名古屋大学)
江川 元偉	江崎 秀男 (椋山女学園大学)	榎本 俊樹 (石川県立大学)
大澤 俊彦 (名古屋大学)	太田 好次 (藤田保健衛生大学)	大森 正英 (東海学院大学)
小川 宣子 (岐阜女子大学)	小田 裕昭 (名古屋大学)	小野崎博通
小原 章裕 (名城大学)	小原 郁夫	垣沼 淳司
片桐 孝夫 (ホ ッカコーポ レーション)	金丸 義敬 (岐阜大学)	茅原 紘
川岸 舜朗	岸 恭一 (名古屋学芸大学)	合田 敏尚 (静岡県立大学)
<u>小林 身哉 (金城学院大学)</u>	斉藤 慎一	佐藤 祐造 (愛知学院大学)
柴田 幸雄	下村 吉治 (名古屋大学)	杉山 公男 (静岡大学)
脊山 洋右 (椋山女学園大学)	高瀬 幸子 (浜松大学)	田口 寛 (三重大学)
田中 治夫	柘植 治人 (中部大学)	辻 とみ子 (名古屋文理大学)
津田 孝範 (中部大学)	<u>寺島 健彦 (浜松大学)</u>	長岡 利 (岐阜大学)
中島 久男 (日本大学)	中野 昌俊 (名古屋経済大学)	中村 良
長村 洋一 (鈴鹿医療科学大学)	早川 享志 (岐阜大学)	早瀬 和利 (愛知教育大学)
古市 幸生 (名古屋女子大学)	堀尾 文彦 (名古屋大学)	馬路 泰蔵 (修文大学)
松尾真砂子	松田 幹 (名古屋大学)	三宅 義明 (東海学園大学)
武藤 泰敏	村上 太郎 (中京女子大学)	村松敬一郎
村松 宰 (松本大学)	森田 達也 (静岡大学)	<u>森山三千江 (愛知学泉大学)</u>
森脇 久隆 (岐阜大学)	山上 圭吾 (ミツカングループ 本社)	山下かなへ
山本 良子	横越 英彦 (静岡県立大学)	横澤 隆子 (富山大学)
渡辺 達夫 (静岡県立大学)		

特別会員 13社

愛知ヨーク株式会社	味の素株式会社名古屋支社	大塚製薬株式会社名古屋支店
花王株式会社ヘルシア第一研究所	株式会社伊藤園中央研究所	株式会社Jオイルミルズ
株式会社ホ ッカコーポ レーション	株式会社ミツカングループ 本社	健康食品管理士認定協会
サンエイ糖化株式会社	日清オリエントグループ 株式会社	フジパン株式会社
三井農林株式会社食品総合研究所		

平成 22 年度 事業計画(案)

平成 21 年 11 月 14 日

1. 支部大会

- (1) 第 59 回支部大会
- (2) 第 60 回支部大会

2. 評議員会

- (1) 平成 22 年度第 1 回評議員会
- (2) 平成 22 年度第 2 回評議員会

平成 22 年度 予算(案)

平成 21 年 11 月 14 日

平成 22 年 4 月 1 日より平成 23 年 3 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額
会費収入	
特別会員会費(10,000 円×13 社)	130,000
事業収入	
大会関係費	
懇親会負担金(2,000 円×75 名)	150,000
補助金収入	
学会本部補助金(平成 21 年度実績)	496,700
学会活動強化費	250,000
雑収入	
受取利息	1,000
当期収入合計 (A)	1,027,700
前期繰越収支差額(見込額)	550,000
収入合計 (B)	1,577,700

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額
事業費	
支部大会開催費	
会場費	30,000
人件費	50,000
会議費	100,000
旅費・交通費	100,000
印刷費	150,000
懇親会費	200,000
通信費	20,000
諸謝金	250,000
雑費	10,000
管理費	
会議費	0
旅費・交通費	0
通信費	10,000
消耗品	40,000
諸謝金	0
広報活動費	100,000
雑費	10,000
本部会計繰出金	0
当期支出合計 (C)	1,070,000
当期収支差額 (A)－(C)	-42,300
次期繰越収支差額 (B)－(C)	507,700

平成 21 年度 事業計画

平成 21 年 6 月 20 日

1. 支部大会

(1) 第 57 回支部大会

日 時 平成 21 年 6 月 20 日(土) 13 : 00~17 : 10

会 場 愛知教育大学 第一共通棟 (愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1)

日本栄養・食糧学会受賞講演会

1. 食事因子による含硫アミノ酸代謝の制御に関する研究
平成 21 年度学会賞受賞 杉山 公男 (静岡大学農学部)
2. クロマチンリモデリング因子による小腸吸収細胞遺伝子発現誘導機構
平成 21 年度奨励賞受賞 望月 和樹 (静岡県立大学食品栄養科学部)

シンポジウム「アミノ酸の機能と栄養」

1. タウリンと腸管炎症
東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 誠
2. アミノ酸による骨格筋タンパク質の分解制御
岩手大学農学部 長澤 孝志
3. 脂質代謝を制御するアミノ酸の新たな機能
東京大学大学院農学生命科学研究科 佐藤隆一郎

(2) 第 58 回支部大会

日 時 平成 21 年 11 月 14 日(土) 13 : 00~17 : 30 頃

会 場 名古屋大学大学院生命農学研究科 (愛知県名古屋市千種区不老町)

内 容 平成 21 年度総会 研究発表会 懇親会

2. 評議員会

(1) 平成 21 年度第 1 回評議員会

日 時 平成 21 年 6 月 20 日(土) 12 : 00~12 : 40

会 場 愛知教育大学第一共通棟 203 教室 (愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1)

(2) 平成 21 年度第 2 回評議員会

日 時 平成 21 年 11 月 14 日(土) 12 : 00~12 : 40

会 場 名古屋大学農学部 (愛知県名古屋市千種区不老町)

3. 次期役員選出

平成 21 年度支部総会(平成 21 年 11 月 14 日開催)において、平成 22・23 年度支部役員・理事候補者・本部評議員候補者・参与候補者を選出する。これにともない、中部支部正会員による理事候補者選挙を行う。

平成 21 年度 予算

平成 21 年 6 月 20 日

平成 21 年 4 月 1 日より平成 22 年 3 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額
会費収入	
特別会員会費	150,000
事業収入	
大会関係費	
懇親会負担金(2,000 円×50 名)	100,000
補助金収入	
学会本部補助金	498,500
学会活動強化費	250,000
雑収入	
受取利息	1,000
当期収入合計 (A)	999,500
前期繰越収支差額	790,177
収入合計 (B)	1,789,677

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額
事業費	
支部大会開催費	
会場費	30,000
人件費	50,000
会議費	100,000
旅費・交通費	100,000
印刷費	100,000
懇親会費	200,000
通信費	30,000
諸謝金	200,000
雑費	10,000
管理費	
会議費	50,000
旅費・交通費	10,000
通信費	70,000
消耗品	30,000
諸謝金	10,000
雑費	10,000
本部会計繰出金	0
当期支出合計 (C)	1,000,000
当期収支差額 (A)-(C)	-500
次期繰越収支差額 (B)-(C)	789,677

平成22・23年度 支部選出理事候補者

(敬称略) (任期 平成22年6月1日～平成24年5月31日)

大澤 俊彦 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

合田 敏尚 (静岡県立大学食品栄養科学部)

平成22・23年度 本部評議員・参与候補者

平成21年11月14日

(敬称略)

本部評議員候補者 18名 (任期 平成22年6月1日～平成24年5月31日)

青木 直人 (三重大学)	池田 彩子 (名古屋学芸大学)	石原 健吾 (椋山女学園大学)
金丸 義敬 (岐阜大学)	岸 恭一 (名古屋学芸大学)	齊藤 慎一
佐藤 祐造 (愛知学院大学)	下村 吉治 (名古屋大学)	杉山 公男 (静岡大学)
脊山 洋右 (椋山女学園大学)	田口 寛 (三重大学)	長岡 利 (岐阜大学)
中島 久男 (日本大学)	早川 享志 (岐阜大学)	早瀬 和利 (愛知教育大学)
村上 太郎 (中京女子大学)	村松 宰 (松本大学)	森田 達也 (静岡大学)

参与候補者 16名 下線は新任

青山 頼孝 (名古屋文理大学)	大澤 俊彦 (名古屋大学)	小川 宣子 (岐阜女子大学)
小田 裕昭 (名古屋大学)	<u>小原 章裕 (名城大学)</u>	合田 敏尚 (静岡県立大学)
柘植 治人 (中部大学)	津田 孝範 (中部大学)	古市 幸生 (名古屋女子大学)
堀尾 文彦 (名古屋大学)	松尾真砂子	松田 幹 (名古屋大学)
森脇 久隆 (岐阜大学)	横越 英彦 (静岡県立大学)	横澤 隆子 (富山大学)
渡辺 達夫 (静岡県立大学)		

理事会報告

理事会の主な報告内容は以下のようです。これらは、ほとんどが学会のホームページに掲載されていますので、詳細はホームページをご参照下さい。

1. 学会ホームページをリニューアルしました。
2. 学会ホームページにアクセスしていただき、そこに指示されている手続きをお願い致します。
 <以下、注意点>

名簿情報の開示・非開示設定のお願い：本学会では会員の皆様同士の交流や研究の推進に資する目的で、会員名簿を発刊してまいりましたが、**今後はオンライン会員管理システムを導入することになり、本年の12月1日を目標に会員専用サービスとしてWeb名簿閲覧サイトを設けることにいたしました。**つきましては、会員皆様の公開情報について下記項目をご確認戴き、改めてご協力をお願い致します。

開示/非開示に関する留意点：

1. 「自身が公開しない項目は他の会員様の当該情報は見られない設定となります」のご注意願います。例えばA会員がB会員のメールアドレスを知りたい場合、A会員は自身のメールアドレスを公開する設定にしておく必要があります。
2. 開示/非開示の意志表示がない場合（Web上の更新をされていない場合）は、公開時には氏名以外は非開示扱いとなり、他の会員の情報もご覧になれません。

3. 国際関係ニュース

- (1) IUNS（国際栄養学連合）の理事会において、IUNS Fellow にわが国から次の2名の先生方が選ばれました。
 板倉弘重 教授（茨城キリスト教大学） 野口 忠 教授（中部大学）
- (2) アジア栄養学連合（FANS）の総会が10月7日に開催され、日本が2015年アジア栄養学会議（ACN）の開催地に決定しました。このACN組織委員会が発足し、組織委員長は宮澤先生（東北大学大学院）、開催地はパシフィコ横浜であることまでが決定されております。

4. 本学会を新公益法人に移行するためのWorking Groupが組織され、活動していますが、現在のところ、来年度（平成22年度）の総会で新定款（案）を審議できるように準備中です。